

新規事業採択時評価

【河川事業】

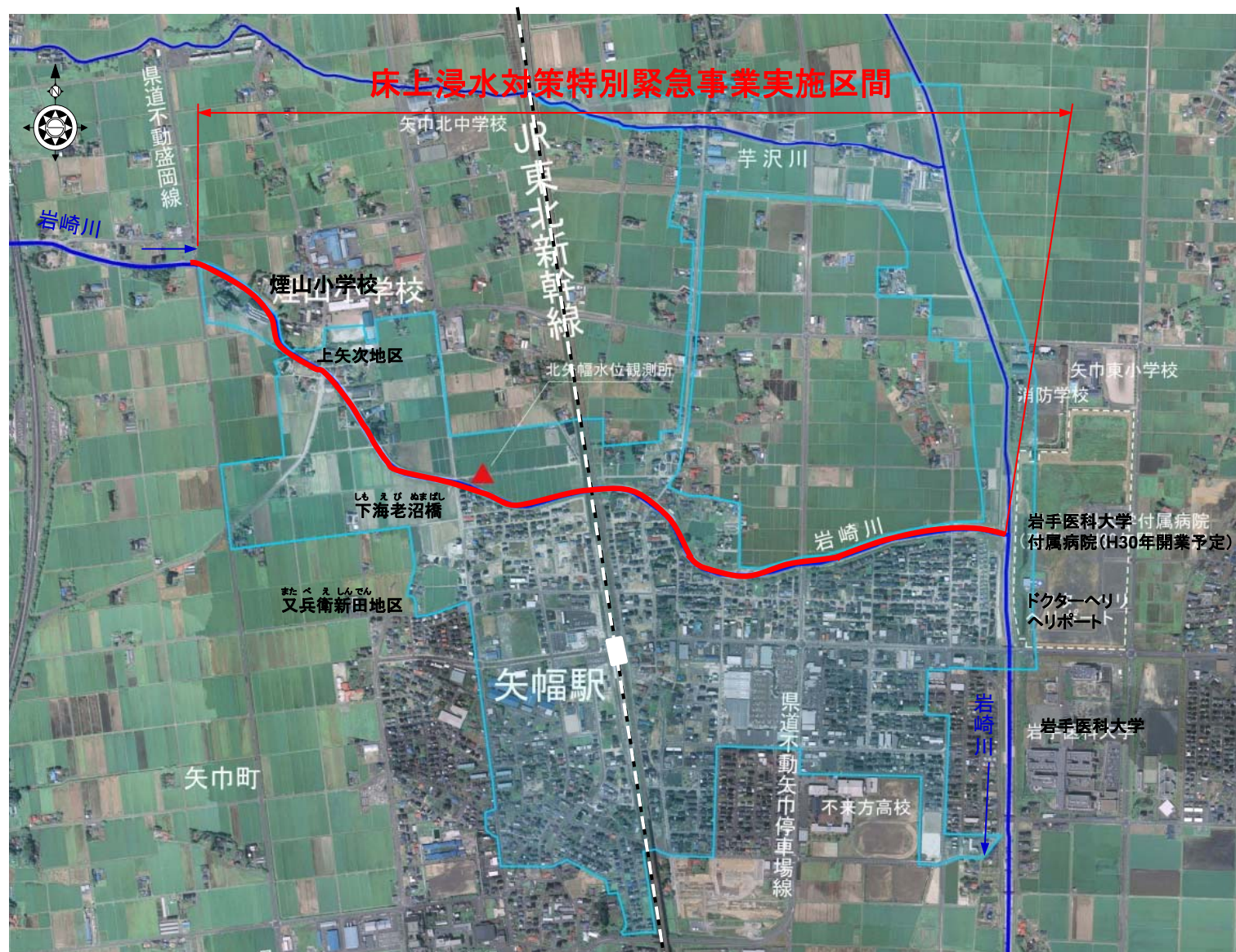
(補助事業等)

- 岩崎川床上浸水対策特別緊急事業 1
- 古川床上浸水対策特別緊急事業 3

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	岩崎川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 山田 邦博		事業 主体	岩手県			
実施箇所	岩手県矢巾町									
主な事業 の諸元	河道掘削、築堤工、護岸工、樋門・樋管改築、橋梁改築、堰改築、落差工 等									
事業期間	事業採択	平成26年度	完了	平成30年度						
総事業費 (億円)	約49									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎川は、元々農業用水路であったことから、河床が高く、断面が狭小で流下能力が不足しており、大雨の都度氾濫を繰り返している。 ・沿川では近年大規模な宅地開発、岩手医科大学の移転などにより市街化が著しく進んでおり、さらに岩手医科大学付属病院の移転が進められるなど、今後も資産の集積が想定される。 ・近年においては、平成14年、平成19年の浸水被害をはじめ、平成25年8月9日の大雨・洪水では床上浸水96戸を含む浸水戸数382戸もの甚大な被害が発生した。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削、築堤、護岸等を施工して流下能力の向上を図る。 ・平成25年8月洪水と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等災害による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数: 864戸 年平均浸水軽減面積: 124ha									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成25年度							
	B:総便益 (億円)	1,246	C:総費用(億円)	45	B/C	27.9	B-C	1,201	EIRR (%)	-
事業の効 果等	<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・築堤・護岸等を施工して流下能力の向上を図る。 ・平成25年8月洪水と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。 									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成25年11月の委員会に諮問し、平成26年1月に事業実施とした県の評価は妥当という答申を得ている。									

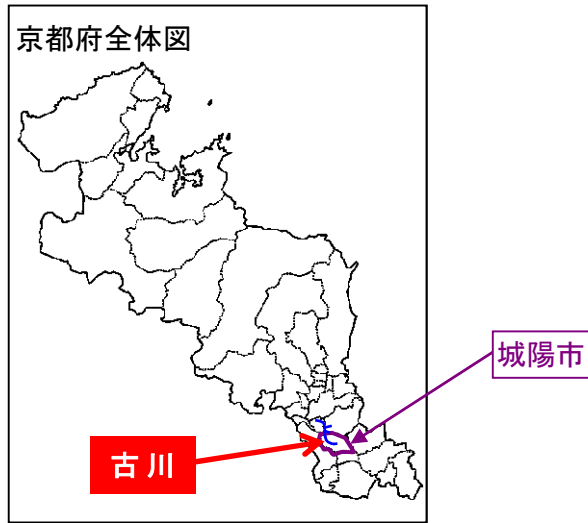
岩崎川床上浸水対策特別緊急事業位置図【岩手県】





<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	古川床上浸水対策特別緊急事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 山田 邦博	事業 主体	京都府					
実施箇所	京都府城陽市									
主な事業 の諸元	河道掘削、護岸工、床固工、橋梁改築 等									
事業期間	事業採択	平成26年度	完了	平成30年度						
総事業費 (億円)	約36									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・断面も不十分なことから現況流下能力が低く、洪水時には溢水氾濫を生じる恐れがある。 ・流域の中上流部に位置する宇治市から城陽市にかけては高度経済成長期から著しく市街化が進行している。 ・近年においては、平成22年の浸水被害をはじめ、平成24年8月14の豪雨では、床上浸水159戸を含む浸水戸数541戸もの甚大な被害が発生した。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削、護岸等を施工して流下能力の向上を図る。 ・平成24年8月洪水と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:944戸 年平均浸水軽減面積:34ha									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成25年度								
	B:総便益 (億円)	500	C:総費用(億円)	36	B/C	13.8	B-C	464	EIRR (%)	70.0
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	12.58	~	15.37						
	残工期(+10%~-10%)	13.87	~	14.03						
	資産(-10%~+10%)	12.53	~	15.13						
事業の効 果等	<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削、護岸等を施工して流下能力の向上を図る。 ・平成24年8月洪水と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。 									
その他	<p>平成24年8月14日の京都府南部地域豪雨により宇治川圏域においては広範囲において多大な浸水被害を受け、流域の関係市町長から、河川改修の促進に対する強い要望がある。</p> <p><第三者委員会の意見・反映内容> 平成26年2月24日に開催した「第14回木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会」において、「被災を受けた地域であり、事業進捗を図りたい」との意見あり。</p>									

位置図：京都府 城陽市



凡 例	
	流域界
	現河川流路